

防衛トビックス

駆け付け警護について

南スーダンP KOに派遣される第11次隊が12月12日以降、昨年3月施行の平和安全法制で可能となった「駆け付け警護」と「宿営地共同防護」の新任務を付与されて国連平和維持活動する。

駆け付け警護とは

P KOの文民職員やP KOに関わるNGO等が暴徒や難民に取り囲まれるといった危険が生じている状況等において、施設整備等を行う自衛隊の部隊が、現地の治安当局や国連P KO歩兵部隊等よりも現場に近く所在している場合などに、安全を確保しつつ対応できる範囲以内で、緊急の要請に応じて応急的、一時的に警護するもの。

武器使用権限

その業務を行うに際し、事故またはその保護しようとする

女心の防衛論

トランプ勝利の理由

大阪府立大学教授 堀江 珠喜



この拙文が
お手元に届く
頃には、あの
「トランプ・ショック」から米国を
含め世間が立ち直り、「良い結果」
と思えるような新年を迎えていらっ
しゃることを願っている。

米国大統領選挙の2日前、証券
会社の男性担当者から「クリント
ンが勝ち、株価上昇が見込まれる
ので、今のうちに買いませんか？」
という電話があった。私の返事は
「なんとなく、買わないでください」
結局トランプが勝ち、日本株も一
時は大打撃を受けた。（だが、その
翌日にはまた株価は上昇した。）
開票の翌朝、大学で男性の同僚
は私に「お早うございます」の代
わりに、「トランプが選ばれるなん
て！」と挨拶。「いかにもアメリカ
らしいわね」と私。
前夜、我が家では夫と米国につ
いて「禁酒法」でマフィアを儲けさ
せ、ソ連も使わなかった「核兵器」

女性部会

女性自衛官を激励慰問

平成28年12月8日当協会女
性部松川和子会長以下24名は
年末恒例の伊丹・千僧・川西
駐屯地を訪問し、会長の講演
の後夫々の女性隊員を激励す
るとともに阪神病院の入院患
者をお見舞いした。



海上自衛隊練習艦隊歓迎のタベ

※2

（将来の日本の防衛の中核となる若き海軍士官を激励しよう。）

☆日時 三月二十一日（火）午後六時（予定）

☆場所 シェラトン都ホテル大阪（予定）

（大阪市天王寺区上本町6-1-55 06-6773-1111代表）

☆会費 一万円（当日受付にて）

○参加希望者は三月十日までに事務局までご連絡下さい

電話&FAX（〇六六二〇二八二四）

第4回防衛・防災フェスティバルのご案内 ※1

大阪防衛協会青年部主催の「OSAKA防衛・防災フェスティバル2017」が3月5日（日）10時から午後4時まで大阪南港AIC及びその周辺で行われます。

今回のテーマは「いっしょにまもろうこのくらし」です。
陸・海・空自衛隊の装備品（戦車・ミサイルヘリコプター・艦艇等）の展示や一般公開、大阪市消防局、大阪府警、日本赤十字社、国土交通省、大阪府危機管理室等の協力を得て災害の体験、煙中避難体験、炊き出し試食、防災グッズの販売等があります。

さらに自衛隊音楽隊演奏会、幼稚園児の鼓笛演奏、レジャー部隊の訓練展示もあり、子供さんと一緒に楽しんで学べる最高のチャンスです。

行事メモ

（平成29年1月〜3月）

○自衛隊協力団体新春懇親会（大阪） 1月8日（日）

○中部方面音楽まつり（西宮） 1月9日（月）

○防衛関係諸団体新年互礼会（伊丹） 1月14日（土）

○陸海空トップ懇談会（大阪） 2月7日（火）

○第4回結婚大作戦（青年部）（伊丹） 2月11日（土）

☆空自第106期一般幹部課程卒業式（奈良） 2月11日（土）

○全国防衛協会常任理事会（東京） 2月22日（水）

○第3師団定期演奏会（伊丹） 2月26日（日）

○第4回防衛・防災フェスティバル（大阪 ※1） 3月5日（日）

○全国防衛協会理事会（東京） 3月8日（水）

☆空自第80期飛行幹部課程卒業式（奈良） 3月9日（木）

○第36普通創立記念行事（伊丹） 3月12日（日）

○大阪地方協力本部入隊予定者激励会（大阪） 3月19日（日）

▽海自練習艦隊歓迎行事 3月21日（火）

入港・歓迎のタベ（大阪 ※2） 3月21日（火）

（□陸▽海☆空○協会）

会員増勢運動について

ご協力をお願い

大阪防衛協会は、昭和三十八年（1963）一月、北陸地方二帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が出動し、その献身的な働きに感動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下山幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。

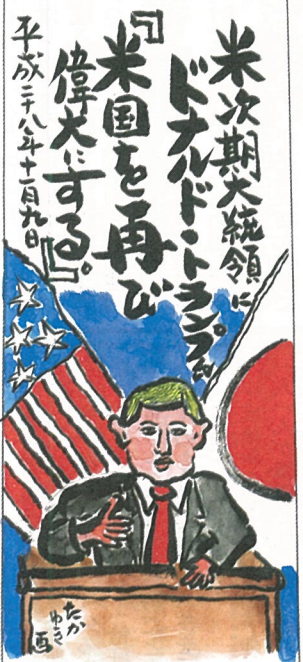
協会は創設以来、P KO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族弔問慰霊祭協力、新入隊員激励、隊員募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発行、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行、航海、青年部による防衛防災フェスティバルや婚活活動等を行っています。

※ご入会希望の方、ご紹介下さる方は事務局までご連絡下さい。
〒五四一-〇〇〇四
大阪市中央区北浜四-二-一三
淀屋橋今西ビル4F
大阪防衛協会事務局
電話FAX（〇六六二〇二八二四）

「国を守る気概」示そう！

平成29年版 自衛隊カレンダー

（陸海空共通の6枚つづり）元氣が出ます。
○希望される方は送料300円分の切手を左記事務局までお送り下さい。
〒541-0041 大阪市中央区北浜4-2-13
大阪防衛協会 連絡先電話&FAX（〇六六二〇二八二四）



事務局だより

新年おめでとうございませう。
本年も「まもり」を愛読の程よろしくお祈り申し上げます。
○青年部主催で「第4回防衛・防災フェスティバル」を計画して

国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力するを目的とする。



第196号

平成28年10月7日

発行所

大阪防衛協会

(〒541-0041) 大阪市中央区北浜4丁目2番13号 淀屋橋今西ビル4F
TEL 06-6202-8284

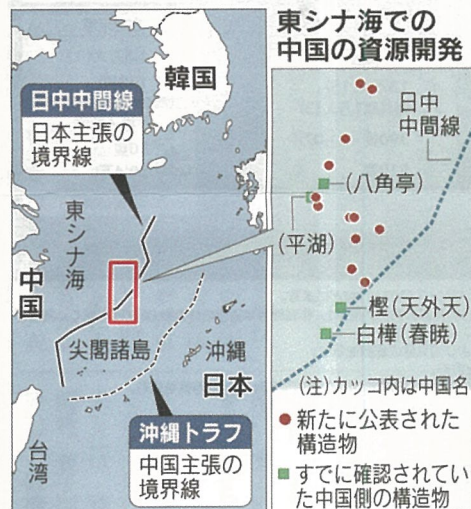
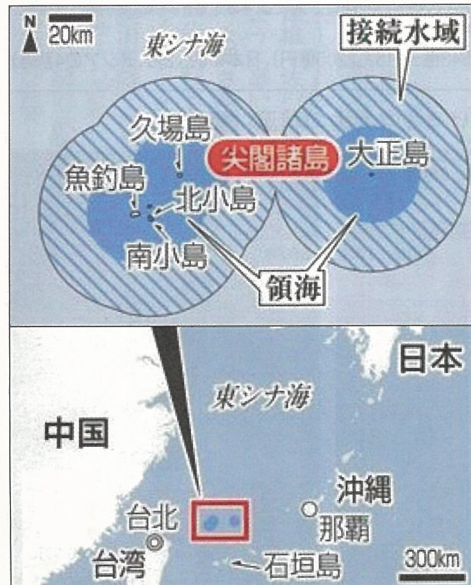
発行人 井上礼之

編集責任者 蛭原康治

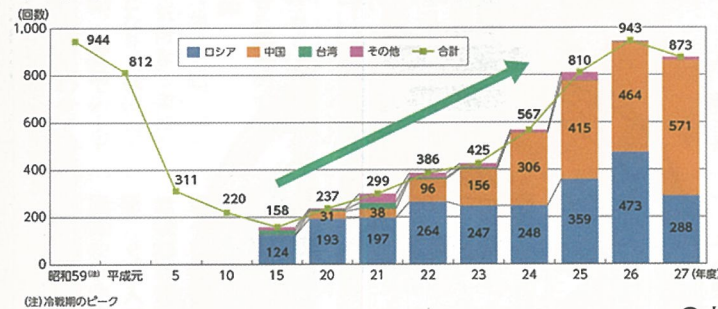
印刷所 (株)DNPメディアサポート

我が国周辺で何が起こっているのか？

関連記事 (第2面：尖閣諸島小史と中国の台頭)



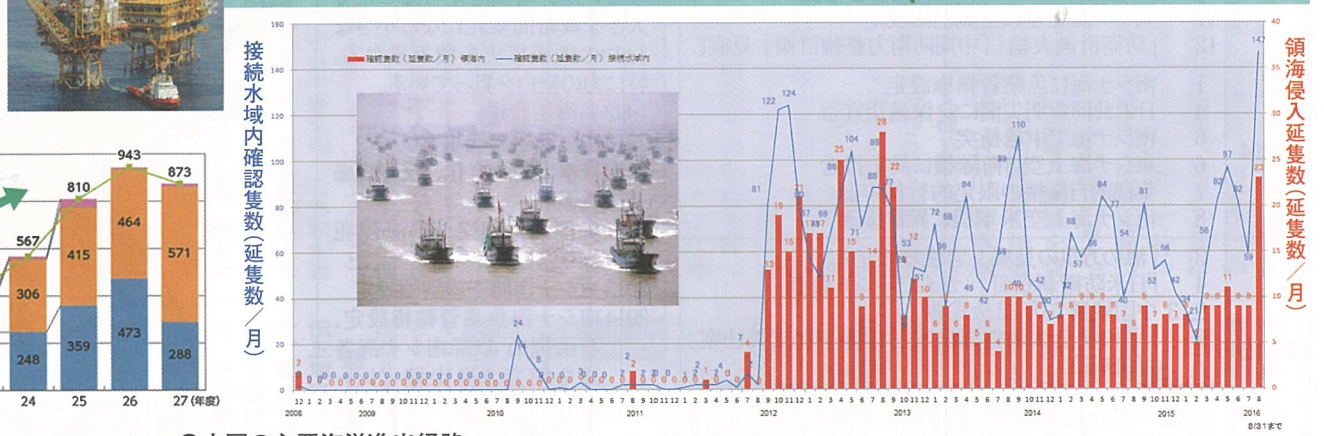
●冷戦期以降の緊急発進実施回数とその内訳



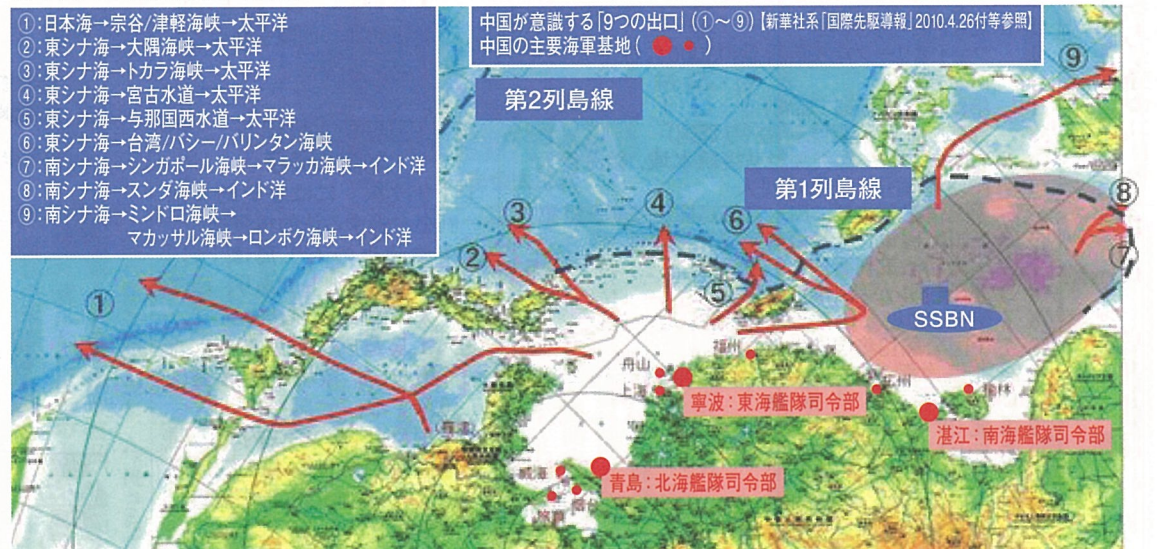
●中国は南沙諸島などで軍事拠点化を進めてきた



※平成28年防衛白書、IT・Wikipedia等から転載 (高岡昭一氏協力)



●中国の主要海洋進出経路



尖閣諸島関連小史と中国の台頭

1895	1	沖縄県への編入 日本領土編入決定	
1896	9	古賀辰四郎氏に無償貸与、艋節工場	
1932		古賀善次氏（長男）に有償で払い下げ。	
1940		事業継続断念（無人島となる）	
1952	4	サンフランシスコ平和条約発効（米国の施政下）	
1953		米国統治下に含む 中国「九段線」の設定	
1955		第3清徳丸事件（日本漁船襲撃さる）	
1968	10～11	東アジア経済委員会海底学術調極査（推定1095億バレルの海底石油資源推定）	
1970	9	琉球政府、尖閣諸島領土権声明	
1971	6 12	台湾尖閣領有権主張 中国領有権主張	
1972	5	米との沖縄返還協定発効、日本に正式返還	
1973	3	米軍ベトナム撤兵完了	
1974		中国軍西沙群島「永興島」占領	
1978	4 8	中国漁船（100隻以上）領海侵犯 日中平和友好条約成立（棚上げ）	
1982		劉華清の海軍建設構想発表	※1
1985		ソ連カムラン湾から撤退	
1988		中国軍南沙諸島に侵入	
1992	2 9	中国「領海法」の制定（台湾、尖閣諸島、東沙・西沙・中沙・南沙群島は自国領と主張） 米軍が比スービック湾、クラーク基地撤退	
2003	12	人民解放軍に「三戦」の任務付与	※2
2005	2	釣魚島に建設した灯台を国有化	
2008	12	沖縄県議会が「尖閣は我が国固有の領土」決議	
2009	3	米海軍音響測定艦の航行を妨害 米、中国のA2/AD戦略を報告	※3
2010	9 9 12 12 12	尖閣諸島中国漁船衝突事件 クリントン米國務長官「尖閣諸島は日米安保5条適用」 オバマ大統領「世界の警察官」放棄発言 魚船衝突ビデオ映像流出 石垣市議会1月14日を「尖閣諸島開拓の日」制定 米イージス艦の航行妨害 国家動員法制定	
2012	3 9 12	中国公船領海内に侵入 日本尖閣3島購入、国有化 中国航空機初の領空侵犯	
2013	1 5 8 11 12	中国艦が海自護衛艦及びヘリに火器管制レーダーを照射 アジア新安保構想提唱（『一带一路』海のシルクロード） 「中国のサラミ・スライス戦略」を発表 東シナ海上空に空識別圏設定 「防衛計画大綱」「中期防衛力整備計画」見直し	※4
2014	1 4 6 6 7 8	南シナ海に魚業管轄権設定 日米共同声明尖閣に安保適用宣言 南シナ海で中越衝突 東シナ海上空自衛隊機に異常接近 集団的自衛権の限定的行使容認 南シナ海上空米軍機に異常接近	
2015	3 4 9.3 9 10.26 12.26	「海の万里の長城」岩礁埋め立て 「日米防衛新指針」（ガイドライン）合意 中国戦勝70年記念式典 「平和安全法制整備法案」「国際平和支援法案」可決成立 米イージス艦「ラッセン」南沙人工島12 ^カ 内航行 中国公「海警」（機関砲？搭載）が我が国領海に侵入	
2016	1.6 1 1 3 6.9 6.15 6.16 7.12 8.3 8.6 8.7 8.24 9.5 9.5 9.9 9.25	北4回目の核実験 ファイアリークロス礁新設の3000 ^{トン} 級滑走路で試験飛行 第9航空団新編（那覇） 与那国沿岸監視隊新編（与那国） 中国フリゲート艦尖閣諸島接続水域、領海侵入 露駆逐艦も接続水域侵入 中国情報収集艦、口永良部島周辺領海を侵犯 中国軍機東シナ海領空侵犯異常接近 国際司法裁判所南シナ海裁可 北ミサイルが秋田沖EEZ内落下 漁船230隻公船7隻尖閣接続水域を航行 中国公船13隻尖閣領海侵入 北潜水艦ミサイル発射、日本の防空識別圏内に落下 北ミサイルノドン等3発が奥尻沖EEZ内落下 日中「海空連絡メカニズム」を協議 北5回目の核実験 中国戦闘機（戦闘機、H6爆撃機、TU154情報収集機等）宮古海峡を往復通過	※5

海軍建設構想 ※1

1期「再建期」(1982～2000)
中国沿岸海域の防備態勢整備

2期「躍進前期」(2000～2010)
第一列島線内部(近海)制海確保

3期「躍進後期」(2010～2020)
第二列島線内部の制海確保
空母建造

4期「完成期」(2020～2040)
米海軍による太平洋支配阻止

中国の3戦（4戦） ※2

世論戦（重点打撃、情報管理）
国内外の世論に影響を与え、中国の行動に対する国内外の指示を獲得

心理戦（宣伝・威嚇・心理防御）
敵の軍人・国民の士気を低下させ、敵の作戦遂行能力を低減

法律戦（国際法解釈・国内法整備）
国際法及び国内法を利用し、中国の行動に対する国際的支持を獲得し、予想される反発に対処

地図国戦（2014公式地図を発表）
大陸本土横型から海洋主権の縦型に移行

接近阻止・領域拒否 ※3

中国の軍事戦略
(Anti-Access/Area Denial)
A2AD教義は基本的に海・空
作戦主軸
接近阻止 (A2)
第1列島線を防御線としてそ
の内部へ米海軍部隊（原子力
潜水艦や空母機動部隊）の侵
入を阻止するための戦略（主
として地上基地を基盤）
領域拒否 (AD)
第2列島線以内の海域におい
て米軍が自由に作戦を展開す
ることを阻害するための作戦
（主として海軍力を基盤）

サラミスライス戦略とは ※4

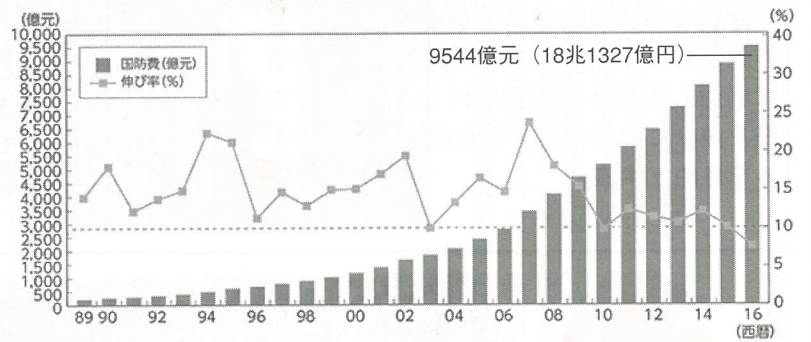
その一つずつは戦争原因にならないが、時間をかけることで大きな戦略的変化になる小さな行動の既成事実を積み重ねる。特に力の空白を狙っている。
 1992 領海法設定
 2010 中国漁船衝突事案
 2012 日本尖閣国有化、反半日暴動激化
 尖閣諸島EEZ、領海侵犯繰り返し
 2013 東シナ海防空識別圏設定
 2014 南シナ海漁業管轄権設定、石油掘削 以降南シナ海各島を埋立、滑走路・レーダー・軍事施設等設置、特に米軍プレゼンス低下、東日本大地震、オリンピック、北実験等の間隙を利用して

国際司法裁判所 ※5

判決の骨子

- ①「9段線」には歴史的な権利を主張する法的根拠ない。
- ②南沙諸島の人工島は「岩」と「低潮高地」であり、EEZや大陸棚は生じない
- ③人工島造成は生態系を大きく損ない、環境保護義務に違反する。
- ④中国は比国のEEZ内での同国漁船の妨害や人工島造成により、比国の主権を侵害してきた。

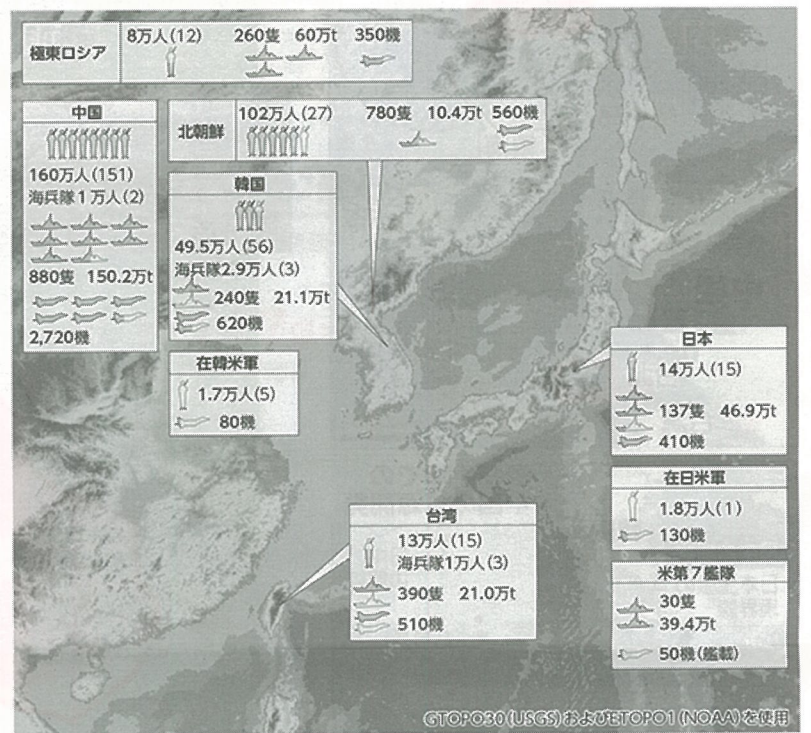
中国の公表国防費の推移



(注) 国防費は中央財政支出における国防予算額。ただし、2002年度の国防予算額は明示されず、公表された伸び率と伸び額を前年当初予算に適用して求める差額が生じるため、これらを前年執行実績額からの伸びと仮定して算出。また、2015・16年度は、中央本级支出(中央財政支出の一部)における国防費のみ公表されたが、2015年度については、その後、地方移転支出等が別途公表されたため、合算し、中央財政支出における国防費を算出。

(平成28年度予算:前年実績費7.6%増、9543億元(16兆2200億円)、日本の約3.2倍、アジアの4割強)

わが国周辺における主な兵力の状況（概数）



(注) 資料は、米国防省公表資料、「ミリタリー・バランス(2016)」などによる。

1 日本については、平成27年度末における各自衛隊の実勢力を示し、作戦機数は空自の作戦機(輸送機を除く。)および海自の作戦機(固定翼のみ)の合計である。

2 在日・在韓駐米軍の陸上兵力は、陸軍および海兵隊の総数を示す。

3 作戦機については、海軍および海兵隊機を含む。

4 ()内は、師団、旅団などの基幹部隊の数の合計。北朝鮮については師団のみ。台湾は憲兵を含む。

5 米第7艦隊については、日本およびグアムに前方展開している兵力を示す。

6 在日米軍及び米第7艦隊の作戦機数については戦観機のみ。

北朝鮮の弾道ミサイル

